

資料 2

第 2 期知多市国民健康保険 データヘルス計画の最終評価について

第2期知多市国民健康保険データヘルス計画 最終評価（全体の評価）

（記入年月日 2023/9/30）

【評価判定区分】

A : 達成・概ね達成（目標達成、または達成率90%以上）

B+ : 改善（達成率50%以上90%未満）

B- : やや改善（達成率10%以上50%未満）

C : 変わらない（達成率-10%以上10%未満）

D : 悪化（達成率-10%未満）

E : 判定不能

策定時の健康課題	策定時の目的・目標	目標		実績値							評価判定	目的・目標の達成状況		今後の方向性 （個別事業の評価結果を踏まえて）
		指標	目標値	計画策定時 基準値29年 (ベースライン)	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度		達成に繋がる 取組・要素	未達成に繋がる 背景・要因	
<p>・40歳代から50歳代までの特定健診受診率は低い</p> <p>・特定健診未受診者の一人当たり医療費（医科）は、受診者の7.9倍と高い</p> <p>・特定保健指導の実施率は上昇しているが、目標を下回っている</p> <p>・特定保健指導未利用者は、利用者に比べ、翌年の体重の値が改善されていない</p> <p>・男性のメタボ該当者の割合は、50歳代が県より高く、50歳から54歳までが最も高い</p> <p>・メタボ該当者の割合は、女性では年齢が上がるほど高くなるが、男性は50歳から54歳までが最も高い</p> <p>・がん検診の受診率は、胃がん、大腸がん、子宮頸がんでは、県平均よりも低い</p> <p>・悪性新生物の部位別標準化死亡比では、男性は直腸、前立腺、女性は直腸、気管・肺、乳がんが高い</p> <p>・悪性新生物にかかる医療費が、他の生活習慣病と比べて高い</p> <p>・死因別死亡割合は、生活習慣病によるものが全体の5割以上を占める</p> <p>・3疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症）治療なしのうち、HbA1cの値が6.5以上（医療受診勧奨レベル）でも医療機関を受診していない人の割合が県よりも高い</p> <p>・小学校区別のデータ分析では、地区により生活習慣や健診結果に特性がみられた</p> <p>・生活習慣病に関係する医療費が、全医療費に占める割合は35.6%、約20億6,500万円である</p> <p>・ジェネリック医薬品利用率は増加傾向がみられ、代替可能な先発医薬品薬剤金額は最大で約1,510万円/年であるが、更なる増加が求められている</p>	<p>①特定健診受診率及び特定保健指導実施率の増加</p> <p>②生活習慣病の発症及び重症化予防</p> <p>③医療費の適正化</p>	①特定健診受診率	58.6%	46.5%	46.5%	47.0%	47.7%	44.2%	44.3%	44.3%	C	—	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大による、3密対策により、受診率が低下した</p>	<p>・コロナ禍で受診率の低下が見込まれるが、健診機会を減らさないように、密にならないスケジュールを検討する</p> <p>・市民がより健診が受けやすくなるよう、個別検診・集団検診の期間、方法等を検討する</p>
		①特定保健指導実施率	55.0%	53.3%	53.3%	49.1%	49.3%	50.6%	52.2%	38.1%	D	—	<p>・特定保健指導に参加する時間が取れない方が多い</p> <p>・感染拡大による生活習慣の変化により外出機会が減り、運動不足につながっている</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響で参加を見合わせる方が多かった</p>	<p>・実施日時、実施方法、内容の検討</p> <p>・感染拡大時の新しい生活様式に合わせた食事・運動等の指導内容の検討</p> <p>・分割実施の導入により、実施率向上をねらう</p> <p>・ICTの活用により、業務の効率化を図る</p>
		②糖尿病性腎症重症化予防事業参加により食生活が改善した割合	60%以上 見直し後 (R2) 80.0%以上	81.3%	81.3%	87.5%	100%	96.9%	94.4%	100%	A	<p>・対象者に合った食生活指導、運動指導を実施することができた</p>	—	<p>・「糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き」に沿って対象者の選定や事業を評価する</p> <p>・糖尿病受診中の方も対象者に含め、かかりつけ医と連携した取り組みを強化する</p>
		②糖尿病性腎症重症化予防事業参加により運動習慣が改善した割合	60%以上 見直し後 (R2) 80.0%以上	66.7%	66.7%	62.5%	85.7%	96.9%	94.4%	94.4%	A	—	—	—
		③ジェネリック医薬品利用率（金額）	58.0%以上	50.1%	50.1%	53.5%	57.9%	61.2%	61.9%	61.6%	A	<p>・年2回の通知により、調剤料削減の情報提供を行うことができた</p>	—	<p>・ジェネリック医薬品の使用状況について、年齢別等に類型化・把握した上で通知対象者の見直しを行い、継続した情報提供を実施する</p>
		③ジェネリック医薬品利用率（数量）	80.0%以上	73.7%	73.7%	78.1%	81.1%	82.7%	83.7%	84.7%	A	—	—	—